

Ambitious アンビシヤス



難病障害を生きる！
不自由なれど、不幸にあらず

表紙は語る

「網膜色素変性症」

アンビシヤス通信

12月の報告あれこれ

こころの現場から

つぶやきチャンプルー

シリーズ 第46回

『患者学』 加藤 眞三教授

アンビシヤス広場

エッセイ 浦崎 綾乃さん

難病短歌・川柳

お勧め映画情報
占い

沖縄県難病団体の掲示板

団体定例会・交流会スケジュール

患者団体からのおたより

沖縄県内難病患者団体一覧

編集後記

アンビシヤスメモ

保健所からのご案内

ライソゾーム病（ファブリー病含む）

那覇サテライトセミナーのご案内

RDD2019 in 沖縄

パネル展のご案内

医療相談会（膠原病系疾患）

表紙は語る 東与一（ひがしよいち）さん 網膜色素変性症

難病障害を生きる！ 不自由なれど、不幸にあらず



いつも励ましてくれる機会仲間たち

歳月人を待たず、という言葉通りに新年も2月になりました。光陰矢の如しであります。

本誌「アンビシャス」をご愛読の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。今年も希望に満ちた新年でありますように、ご健勝をお祈り申し上げます。

さて、実は私がアンビシャスに登場するのは2回目です。昨年（平成30年）12月号（Vol.199）で「転ばぬ先の杖、希望に向かって白杖と歩く」を掲載させていただきました。すると、この記事を読んだ友人達が集まって激励しようと食事を開いてくれました。この席で以下のような発言がありました。「目が悪いのに、自分たちと対等に酒を飲み、いろいろな社会活動をしている。感心するよ。頑張つて」とか「人知れず苦労してるんだね」とかいう言葉のほか、「目の悪いことは知っていたが病名は知らなかった。僕のように知らない人の為にもっと網膜色素

変性症のことを詳しく書いてほしかった」という話がありました。

その時の「知らない人の為にもつと病氣のことを詳しく書いてほしかった」という言葉が心に引っかけましたので、アンビシャスさんに機会があれば再度執筆させてほしいとお願いしたところ、「通常なら1年くらい空けてからお願いですところですが、2月号の予定の方が体調不良で空気が出たので、変則的にはなりますが12月号の続編ということはどうでしょうか。」とのお話を頂き、今回の執筆となりました。

本稿はこのような経緯で執筆されたものであります。執筆を譲って下さった方の一日でも早い回復をお祈り申し上げます。

また先程の友人の話に戻りますが、私たち夫婦は親なし、子供なし、兄弟姉妹もない境遇のため、彼らから「いざという時の看取りは我々がするから」と手をギュッと

握つての言葉は心地よく心に響き、嬉しい気持ちで一杯でした。実に有り難いことです。

私は「網膜色素変性症」を患って16年目になりました。前回は「網膜色素変性症と診断されたから、アンビシャスと出会うまでの経緯をお話ししましたが、今回は病気の具体的な症状について述べたいと思います。

アンビシャスや網膜色素変性症協会と出会うまでは、自分の病の事だけが気になり、自分が難病を患っているが他人のことについては、それほど気にもせず無関心だったといえます。網膜色素変性症と診断された時(平成15年)も、初めて聞く病名に驚き、ショックを受けたものの「こんな眼病もあるんだ、最悪の場合は失明するのか」というぐらいに思っ過ぎておりました。

ところが平成30年3月より本誌「アンビシャス」を愛読し始めて、難病障害を患っている方々が一生懸命頑張っていることに感動し、難病障害に対する思いや、考え方が一変しました。

私もそう遠くない将来、介護さ

れる身になるかも知れない。そこで自分が介護される姿を想像してみました。絶句です。自分一人では生きて行けないことに思い当たったからです。「独善的であつてはならない」ということを悟りました。

さて、前述の友人達の話にあつた網膜色素変性症の症状ですが、同病を患うと視野狭窄、視力低下、色覚異常、羞明(眩しい)、夜盲(俗にいう鳥目)を発症します。この病の最初は夜盲から気づくことが多いようです。日本では5000人に一人の割合で発症するそうです。沖縄県の指定難病登録者数は約480人(平成30年3月末現在)。病気



知識を深めるためピアサポート養成講座に参加

の進行は大概ゆっくりで5年、10年で進行状況を自覚。発症年齢・見方・進行状況は個人差があるそうです。外見上は晴眼者(よく見える人)と変わりありません。

視野狭窄は視野障害のことで、次第に視野が狭くなってきます。私も含め多くの場合、目の周辺からボヤケはじめ、徐々に中心部に向かってきます。中心部しか見えないので上下左右、足元も見えず、つまづいたり、落とし物が探せないことや、段差が分からず階段から転倒することもよくあります。最近では夜間でも照明が十分に明るく、夜盲に気づかず視野が狭くなって初めて病気がだと気づくこともあるそうです。

視力は徐々に低下し、中には全く見えなくなる人もいますが、最後まで弱視の状態を保つ方もいるようです。

色の区別が分かりにくい「色覚異常」、明るい場所や照明等が眩しいなどの「羞明」では、晴天時の日中や、夜間の自動車のヘッドライトがとてもしんどく感じます。

そして残念なことは、この病気の治療方法が未だに確立されていないことです。(沖縄県網膜色素変性

症協会パンフレットより抜粋)そのため一旦患ってしまうと一生付き合っていくこととなります。実に厄介な眼病です。

このように難病を患い障害者になると不自由なことも多々ありますが、それでも生きていかななくてはなりません。私自身は不幸だとも思っていないし、むしろ幸せであります。それは健常者の友人達に優しく親切にされているからです。障害者と健常者とのいい関係こそ「共生社会」実現の近道だと思っています。仲良くしましょう。仲良きことはいいこととなります。

語者プロフィール

東 与一(ひがし よいち)さん

1940年、鹿児島市生まれ

【趣味】小旅行、寺社めぐり

【座右の銘】損して得を取れ

【好きな食べ物】てびち、豆腐、そうめん

【挑戦したいこと】小説を書いてみたい

現在、沖縄国際大学 特別研究員(模合システム研究)

沖縄民族学会会員

沖縄高齢者ケア研究会会員



米国婦人福祉協会(AWWA) 沖縄指笛の見学会

12月4日に米国婦人福祉協会(AWWA)の皆様をお招きし、「沖縄指笛」再開の感謝の意を伝えるべく、「沖縄指笛」の製作の現場を見学して頂きました。

「沖縄指笛」の再開にあたってはAWWA様からの寄付により電気窯を購入出来たことが大きく、赤粘土で指笛の型を作り電気窯で焼くことで陶器製の商品に仕上がります。

当日は実際に製作している様子をAWWAの皆様に見てもらい、製作者の難病当事者の方とも交流をしました。「指笛に漢字を掘ることで海外の方も興味を示すのではないか?」「米軍基地内の土産店で販売してみてもどうか?」といった提案もありました。当日は、新聞社の方も取材に来て下さり、翌日の新聞にて大きく取り上げて頂きました。新聞掲載の反響は大きく、それから数日は電話の問合せや、直接購入に来られる方などでその

対応に追われました。またどこで売っているかとの問合せも多く、楽器店やお土産品店へ問合せた方も多かったようです。

沖縄指笛の販売が難病患者の就労に少なからず結びつき、またその収益を難病支援事業に充てることで更に支援活動の充実を図って参ります。

AWWAの皆様のご支援に深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



中部保健所の就労講演会

12月4日に中部保健所主催で「難病のある人のための就労講演会」が開催され、センター長の照喜名より難病を持ちながら就労をして

いる先輩としての体験談を発表させていただきました。

その中で現在までの自分自身の病気との付き合い方について、当事者としての視点、支援者としての視点と両方の立場からお話しをしました。なかなか講演会等で自分の体験を話す機会は少なく、話すことにより、自分自身を振り返る良い機会となりました。

事前アンケートでは、難病患者はどんな生活をしていますか?難病患者は働けるのですか?との質問が多く、体験談の他、難病の法律や制度の説明、難病を持ちながら働いている方の事例紹介や当センターの事業内容の紹介をしました。難病でも実際に働いている方々の事例を参考にして頂き、少しでも希望に繋がればと思います。

講演会後のアンケートでは、「なかなか他の難病の方が働いている話を聞く機会がなかったので、とても良かったです。」「相談出来る窓口があることを知り良かったです。」と言った感想がありました。

今後、一人でも多くの方が就職に繋がるような支援を行って参りたいと思います。

12月のご寄付、ご協賛

12日18日(火)首里キャッスル

ライオンズクラブ様より5万円4ものご寄付を頂戴しました。ライオンズ様には毎年クリスマス前のこの時期に継続してご支援を頂いています。

また会報誌200号記念誌の発行に際しまして左記ご法人様より多大なるご協賛広告を頂きました。お陰様で立派な記念誌を作成することができました。この場をお借りして改めて御礼申し上げます。



- 200号記念誌ご協賛企業(敬称略、順不同)
- ファイザー株式会社 ●有限会社 麦飯石の水
 - 株式会社 アクティブ ●なたち内科クリニック
 - 南西医療器株式会社 ●有限会社 沖縄矢崎販売 ●有限会社 太陽印刷 ●株式会社 長堂材木店 ●どこでもWork ●岡野法律事務所 ●さわやか歯科クリニック ●大城税理士事務所 ●首里城下町クリニック
 - 株式会社 沖縄三和メディカル ●株式会社 照正組 ●有限会社 ハート義肢
- その他、200号ご協賛寄付
株式会社 琉葉

こころの現場から

周囲のひとに協力してもらえらるひとになろう

ひととは誰でもひとりでは生きていくことができないことはご存知のことと思います。そして、自身が生きやすくなるためには、周囲のひとにどれだけ理解をしてもらい、協力を仰ぐことができ

るかが、肝心です。
たとえ正しい知識を有しており、その普及が誰かのためになることが明確であっても、そのひとが普段からピリピリしていたり、「自分の正しい知識や正論が受け入れられないことができない」と言っているように感じたりすると、本来ならばひとのためになるような知識も周囲のひとに受け入れられることがないままという残念な事態になってしまいます。

そのような残念で悔しい結果になることを防ぐには、自分の意見が周囲のひとに受け入れられることができるようにすることが必須となります。普段から穏やかな表情と口調にすることを心

掛け、他人の批判をしないようにし、他人や物事についての文句を言わないようにすることが、前提となります。そして、自分の話を聴いてくれるひとに、わかりやすく話をする必要ですが、伝える際には具体的な言葉で、簡潔に、そしてもし視覚的に伝える手立てがあるとしたら、視覚的に工夫をすることが有効です。

もちろん、日々生きていけば文句の1つも言いたくなるのは人間です。ただ、いざ自分の主張を通したいときに伝わらないと、困るので、文句を言うことをできるだけ少なくできるとよいでしょう。ただし溜め込みすぎると、変な形でストレスが爆発してしまうので、ストレス発散できるようにしていきましよう。

出る杭が打たれ、心ないひとの嫉妬で苦しんだり邪魔されたりすることもありますが、それでも日々誠実に生きていけば必ず味方は増えるものです。



臨床心理士
鎌田 依里
(かまだ えり)

つぶやきチャンネル

2月はいつもより気をつけよう

慌ただしかった年末年始も終え、新年も早や2月となりました。2月といえば2月14日のバレンタインデーがありますが、この日はアンビシャスでは設立記念日です。今年で満17年になります。これまでアンビシャスを支えてきてくれた方々に深く感謝申し上げます。3年後の20周年では盛大に記念祝賀会で祝いたいですね。

ところで、日本では官庁をはじめ多くの企業が3月を年度の区切りとしていて、年度末に向け各種イベントなど2月に集中するものです。アンビシャスでも今月は2日、3日の重症難病患者のコミュニケーション支援者養成講座に始まり、メンタル・セルフコントロール勉強会、全国難病センター研究会や各保健所などの協議会など行事が目白押しです。12月は個人や家庭での1年締めくくりの月ですが、3月は所属団体での年間の締めくくりの月ですね。

そしてイベント行事といえ、人が集まる所で気になるのがインフルエンザです。さすがにインフルエンザは、ヘルプマークを付けていても配慮はしてくれないですね。やはり、無事に年度を納める為には、いつもより体調管理を意識して、手洗い・うがいに、暴飲暴食に「更に気をつけないと」いけないので、「如月(きさらぎ)」

なんでしょうね。
ダジャレで締めたいと思います。



著:照喜名通



シリーズ「患者学」第46回

慶應義塾大学看護医療学部
教授 加藤 眞三

ピアサポーターと傾聴

同じ病気の患者同士が援助し合うことをピアサポートといいます。ピアとは仲間のことであり、同じ立場にある仲間同士が助け合うのだから、ピアサポートはよいに違いがないと考えがちです。

しかし、そこに一つの落とし穴があることに留意が必要です。レイチェル・ルタン氏は、同じ事を経験しているからこそ共感することが難しいと述べているのです。彼等の研究によると、苦境（離婚、昇進見送りなど）に陥っている他者に対し、過去に同じ境遇を乗り越えた経験がある人は、その経験がない人よりも共感を示しにくいという実験結果がでてくるのです。

凍てつく湖に飛び込もうとして怖じ気づいての失敗すること、失業のために麻葉売人になってしまうこと、いじめへの対処を上

手くできないことなど3つの実験で、その状況を切り抜けてきた人は、その状況を経験していない人に比べて、対処が上手く行かなかった人に対しての共感が弱いというのです。つまり、過去に苦境を乗り越えた経験を持つ人は、似たような苦境にありそれを克服できないうる人に対して、厳しい見方をしてしまうと言うのです。

一つには、過去の苦境をどの程度苦しんだかを過小評価してしまうこと、もう一つには、自分はその苦境を克服できたという自信とが重なって、克服できずにいる人への共感が薄れてしまうのだという解釈がされています。

このことは、患者会の活動の中で、患者同士でピアサポートする上でも十分に注意をしておかなければいけないでしょう。実際に、慶應大学で行っている慢性病患者ごつた煮会や公開講座

「患者学」の場でも、過去に苦しんだけれど、今は苦境を乗り越えてこんな幸せと話す人がいます。そんな時、その時点で苦境のど真ん中にいる人は、そんな話を白けながら聴いている様子があるかがわかります。

慢性病患者ごつた煮会では、苦しみを乗り越え、抜け出すことができた人は、「そんな状況を抜け出せば、こんなになれるわよ」と教えようとしたり、「自分なら共感しやすいはずだ」と考えたりするのではなく、自分自身が一番辛かった時の体験談を話して欲しいとお願ひしてきました。

あるいは、どんなことが困難を乗り越えるきっかけになったかを話して欲しいと。

また、ごつた煮会では同じ病気ではなく、むしろ別の病気の患者さんの方がより共感して聴いている様子が見られることがあります。その人達は、相手の病状の苦しきはよく解らないけれど、自分も苦しさを持ってきたから理解したいという気持ちで聴くことができるためであろう。

ルタン氏の言うように、苦境を乗り越えてきた人は、その苦境にあつたことを軽く見がちとなること、自分は乗り越えられたんだと自信過剰になりやすいことをしっかりと認識しておくことが、ピアサポートをしようとする人には大切な心構えではないでしょうか。

参考図書

レイチェル・ルタン他：子育ての経験のある上司とない上司、どちらが育児の苦役に共感してくれるか、ハーバード・ビジネス・レビュー E1シリーズ 「共感力」、ダイヤモンド社 2018

加藤 眞三

1980年、慶應義塾大学医学部卒業。85年、同大学大学院医学研究科修了、医学博士。85-88年、米国ニューヨーク市立大学マウントサイナイ医学部研究員。都立広尾病院内科医長、慶應義塾大学医学部内科専任講師(消化器内科)を経て、現在、慶應義塾大学看護医療学部教授(慢性病態学、終末期病態学担当)。

患者の力 患者学で見つけた医療の新しい姿
出版社：春秋社

「患者には力がある！」毎日を健康に生きるために、真の患者中心の医療を実現するために、いま必要なことは。



東洋経済オンラインに加藤先生による
「市民のための患者学」連載配信中！
<http://toyokeizai.net/articles/-/143366>

沖縄県内 難病患者団体 掲示板

2019年2月の各団体定例会・交流会スケジュール



| 団体名 | 日(曜日) | 時間 | 場所 |
|---------------------------|----------|-------------|--|
| とぅんがらの会 (宮古神経難病・患者家族のつどい) | 1日(金) | 14:00~16:00 | 宮古保健所 健康増進室 |
| 全国膠原病友の会・沖縄県支部 | 2日(土) | 14:00~16:00 | 那覇市保健所 3階 |
| 八重山クローン病・潰瘍性大腸炎患者・家族の会 | 9日(土) | 14:00~16:00 | 八重山保健所 |
| 沖縄クローン病・潰瘍性大腸炎友の会 | 13日(水) | 19:00~21:00 | 那覇市保健所 3階 小会議室 |
| 四つ葉の会 (宮古膠原病友の会) | 16日(土) | 14:00~16:00 | 宮古保健所1階 危機管理室 |
| 沖縄県網膜色素変性症協会 | 16日(土) | 12:00~15:00 | 山之内ホテル3階(国際道り沿い) 新年カラオケ交流会 |
| 沖縄クローン病・潰瘍性大腸炎友の会 (中部地区) | 19日(火) | 19:00~21:00 | 沖縄市福祉文化プラザ |
| 神経難病友の会八重山 | 21日(木) | 14:00~16:00 | 石垣市健康福祉センター ボランティア推進室 |
| 強皮症・皮膚筋炎ゆんたく会 | 22日(金) | 14:00~16:00 | 南風原町社会福祉センターちむぐくる館 参加希望の方は左記迄ご連絡をお願いします。 |
| 沖縄サルコイドーシス友の会 | 会場、日程調整中 | | 参加希望の方は(祖堅)080-9851-5758 又は(仲榮真)090-6856-9274まで |

※詳細は左記患者団体連絡先へお問合せください。



患者団体からのおたより

全国パーキンソン病友の会 沖縄県支部より 「宮古島パーキンソン病 医療講演会」のご報告

台風で延期となり、心待ちにしていた宮古島での初の医療講演会を12月9日に無事開催する事ができました。

講師に渡嘉敷 崇先生(独立行政法人 国立病院機構 沖縄病院 神経内科部長)をお招きしました。

当日は、小雨降る寒い日で来場者の心配もありましたが、70名余りの参加があり、渡嘉敷先生のお話しを食い入る様に聞いていらつしやる姿に感動を覚えました。

講演会の前後に、医療相談会を開催。沢山の方々が渡嘉敷先生の相談を受けたくて並ばれておりました。その内容も様々でしたが、やはり宮古島で詳しく検査ができない事も多くあり、本島へ出てこないといけない等、費用の問題、付き添っていかれる方の事等、本当に離島の方の辛さが伝わり何とかできないものだろうかと痛切に思いました。充実した治療を受けられるよう整備して欲しいものです。

宮古ブロック長の砂川さんはじめ、宮古保健所地域包括支援センターの方々のお力添えを頂き開催できました事。末筆ながら感謝申し上げます。

沖縄県内難病患者団体一覧

| 団体名 | 代表者 | 連絡先 |
|-----------------------------|----------------|---|
| OPLL(後縦・黄色靱帯骨化症)友の会 | 黒島 | (久高ひさえ)080-4119-1241 (安谷屋聡)090-7989-2130 |
| 脊髄小脳変性症/多系統萎縮症 那覇・南部患者の会 | 井上 栄治 | (井上)090-5937-5292 |
| 沖縄クローン病・潰瘍性大腸炎 友の会 | 宮本 勝也 | (宮本)090-8413-2621 (上原)070-5819-4876 メール:k-mi-ya-18@docomo.ne.jp |
| 全国膠原病友の会 沖縄県支部 | 阿波連のり子 | (阿波連)090-1944-2441 メール:yuna@kougen-okinawa.jp.org |
| もやの会沖縄県ブロック | 金城 忠英 | (金城)080-2719-4650 |
| 全国パーキンソン病友の会 沖縄県支部 | 又吉 忠常 | (又吉) 090-8294-1974 |
| 日本ALS協会 沖縄県支部 | 中村 勉 | (島田) 090-3418-7982 |
| 全国筋無力症友の会 沖縄県支部 | 上原 アイ子 | (上原)090-7479-8841 |
| 沖縄県網膜色素変性症協会 | 長嶺 房子 | 北部部会(伊良波) 電話・Fax:0980-53-1262 中部部会(又 吉) 電話:090-3797-4125 南部部会(譜久島) 電話:080-1766-2669 八重山部会(平良) 電話:090-5081-5622 宮古部会(伊良波) 電話:090-8294-6174 |
| 神経難病友の会八重山 | 黒島 里枝 | (黒島)090-5470-7485 |
| 八重山クローン病・ 潰瘍性大腸炎患者 家族の集い | 内間 洋子 村山 盛有 | (内間)090-9784-8219 (村山)090-1179-6912 |
| 強皮症・皮膚筋炎ゆんたく会 | 伊是名恵子 | (伊是名)090-3792-0199 |
| MS友の会(多発性硬化症・視神経脊髄炎) | 仲里 清彦 | (仲里)090-8290-3569 |
| 四つ葉の会(宮古膠原病友の会) | 下地 ヒロ子 | (下地)090-5489-4109 |
| とんがらの会(宮古神経難病・患者家族のつどい) | 砂川 泰彦 | (砂川)080-1536-9287 |
| 脊髄小脳変性症・多系統萎縮症 中部患者・家族会 | 仲西 智春 | (仲西)090-9585-9259 |
| 沖縄サルコイドーシス友の会 | 祖堅 善樹 | (祖堅)080-9851-5758 (仲榮眞)090-6856-9274 |

編集後記

初めに先月200号記念誌の協賛広告の中で「どこでもWalk」様の広告をご提供のデザインと違うものを掲載してしまいました。ご協賛を頂きながら重大な間違いをしまして、ここに深くお詫び申し上げます。誠に申し訳御座いませんでした。

さて照喜名の「つぶやきチャンプルー」にもありましたように、今月は2・3日のコミュニティセッション支援勉強会に始まり、全国難病センター会議、ファブリー病セミナー、メンタルヘルスコントロールの勉強会と毎週末イベントが続き、今月末の28日は「世界希少・難治性疾患の日(Rare Disease Day 略称RDD)」となります。セミナー関係は対象が限られますが、RDDは誰でも参加できますので、お時間のある方はぜひイオン南風原ショッピングセンターまで足をお運び願います。

RDDといえば今月の「表紙は語る」の東さんが、網膜色素変性症協会やアンビシャスと出会ったのもRDDの会場でした。そこで協会の活動内容や他にも数多くの難病がある事知り、その後、体験談のご執筆に結び付いたのです。読者の皆様もRDDの会場で新たな発見、出会いを体験しませんか。詳細は同誌10頁のご案内でご確認ください。

文 仲村明



2019年2月の各保健所からのご案内

- 【北部保健所】Tel:0980-52-2704 2月の予定はございません。
 【中部保健所】Tel:098-938-9883 2月の予定はございません。
 【南部保健所】Tel:098-889-6945 2月の予定はございません。
 【那覇市保健所】Tel:098-853-7962 2月の予定はございません。
 【八重山保健所】Tel:0980-82-3241 2月の予定はございません。
 【宮古保健所】Tel:0980-72-8447 2月の予定はございません。

ライゾーム病(ファブリー病含む) 那覇サテライトセミナーのご案内

- 【日 時】平成31年2月17日(日曜日) 13:00~16:30(受付12:00から)
 【場 所】沖縄県市町村自治会館(那覇市旭町16番地37)4F 5・6会議室
 【座 長】井関 邦敏先生(名嘉村クリニック 臨床研究支援センター沖縄アジア臨床研究連携理事長)
 【演 者】衛藤 義勝先生(東京慈恵会医科大学 名誉教授)
 古波蔵 健太郎先生(琉球大学医学部血液浄化療法部 准教授)
 石原 聡先生(琉球大学医学部附属病院 第三内科(脳神経内科)助教)
 【申込先】東京都文京区本郷4-12-16-707 キタメディア・アソシエイト(株)
 那覇サテライトセミナー事務局 FAX(03-4400-5954)
 【電話申し込み・問合せ】
 (一社)全国ファブリー病患者と家族の会(別称:ふくろうの会)
 会長:原田久生(080-5720-2085)
 ホームページからも申し込みます<http://www.fabrynet.jp/>

RDD2019 in沖縄 パネル展のご案内

「世界希少・難治性疾患の日(Rare Disease Day 略称RDD)」とは、毎年一年で一番日数の少ない2月末日に、難病をお持ちの方々の生活の質向上(QOL)をめざし、広く一般の方に難病について理解してもらう事と、難病患者同士の連帯を築く目的で世界同日に開催されるイベントです。

沖縄でもイオン琉球様のご理解とご協力を頂き、イオン南風原ショッピングセンターを会場として、多くの県民の皆様に難病に関する情報を広くご提供するとともに、難病当事者間の情報交換・情報提供の場としたいと思います。皆様のご来場をお待ちしています。

- 【日 時】2019年2月28日(木) 14:00~17:00
 【場 所】イオン南風原ショッピングセンター内 1Fイベント広場
 【内 容】難病パネル展(難病全体の説明及び創薬開発の現状等)

医療相談会(膠原病系疾患)

- 【日 時】平成31年3月25日(月曜日) 14:00~16:00(お一人30分×4組)
 【場 所】沖縄県難病相談支援センター(那覇市牧志3-24-29グレイスハイム喜納2-1F)
 【対 象】全身性エリテマトーデス、強皮症などの膠原病系疾患
 【医 師】首里城下町クリニック 比嘉 啓 先生
 【申込先】沖縄県難病相談支援センター(認定NPO法人アンビシャス)
 TEL:098-951-0567(平日10:00~17:00)

ご寄付・ご支援・ご協力ありがとうございます 順不同敬称略

サポート・パートナー法人 ●全保連株式会社 ●株式会社 アイアム ●株式会社 いなんせ典礼
 毎月定期ご寄付の方々 ●驥尾の会 ●かりゆしグループ・ホールディングス株式会社 ●匿名2名
 12月のご寄付 ●株式会社 照正組 ●首里キャッスルライオンズクラブ
 ●株式会社 琉葉 ●松原 歩

※ホームページにも掲載しております。アンビシャスホームページにあるコンテンツより「寄付した方々/今年度」をご参照ください。

12月のご支援・ご協力

●難病情報誌200号の折り曲げボランティアとして参加して頂いた方々
 指定障がい福祉サービス事業所「あるにこ」さん

※千羽鶴ボランティアのみな様へ ※現在折鶴の在庫が多く、誠に勝手ながら暫らく折鶴の受け入れをご遠慮させていただきます。

募金箱設置ありがとうございます 順不同敬称略

●全保連株式会社 ●全保連コントロールセンター ●T-SHIRT-YA.COM国際通り店・北谷店 ●カラカラとちぶぐわ〜
 ●フォーモストブルーシール北谷店 ●MISTY本店・美浜店 ●株式会社K.Turtles ●有限会社育英堂書房 ●てだこボウル
 ●西崎オートサービス ●マリンショップぶくぶく ●花野原 ●株式会社照正組 ●三郎寿し ●ホテルまるき ●水のサンクス
 ●株式会社メガネ一番 ●株式会社琉葉 ●恒和ペイント株式会社 ●さわやか歯科クリニック ●auショップ久茂地店 ●山城二輪
 ●ギャラリーカフェ 海ばたー ●しゃしんやきんちゃんDigi-pit店 ●日本交通株式会社 ●沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ
 ●豚骨拉麺昇家 ●沖縄ちゃんぶるーネット (イオン那覇店1階) ●沖縄宝島 (イオン南風原店1階) ●オリオンビール株式会社
 ●沖縄トヨペット株式会社港川店・中部店・小禄サザン店 ●串焼き屋あだん ●上間菓子店 ●HAIR&MAKE EARTH沖縄新都心店
 ●社団法人全国個人タクシー協会沖縄支部 ●株式会社かりさら ●ジョッキハウス ●有限会社だいにちシール ●沖縄県栄養士会
 ●株式会社いなんせ典礼 ●2 Da TOP(ツダトップ)ダンススタジオ

法人賛助会員 順不同敬称略

●全保連株式会社 ●沖縄トヨペット株式会社 ●株式会社 アイアム ●弁護士法人 岡野法律事務所 ●株式会社クオサ ●医療法人かなの会コザクリニック ●さわやか歯科クリニック ●日本交通株式会社 ●しゅくみね内科 ●有限会社太陽印刷 ●株式会社メガネ一番 ●株式会社 名城 ●高良登記測量事務所 ●オリオンビール株式会社 ●株式会社ざまみダンボール ●水のサンクス ●社団法人 沖縄県栄養士会 ●株式会社 アクティブ ●株式会社 長器材木店 ●株式会社 アース ●プログレス ●有限会社 沖縄矢崎販売 ●ふたば訪問看護ステーション ●かりゆしグループ・ホールディングス会社 ●テルモ株式会社 ●株式会社 舜 ●中部協同病院 ●南西医療器株式会社 ●株式会社いなんせ典礼 ●有限会社 麦飯石の水 ●訪問看護ステーションいのり ●友愛会 訪問看護ステーション ●株式会社大成ホーム ●株式会社ケアコネクト ●たつや脳神経外科 ●かなしる内科 ●いくみ皮ふ科クリニック ●首里城下町クリニック第一 ●首里城下町クリニック第二 ●訪問看護ステーション みかん ●外間眼科 ●岸本外科リハビリクリニック ●きなクリニック ●しんざと内科 ●伊佐内科クリニック ●愛聖クリニック ●沖縄病院 ●稲福内科医院 ●訪問看護ステーションうんな ●こころクリニック ●嶺井第一病院 ●こばし内科クリニック ●恩納クリニック ●南部徳洲会病院 ●城間クリニック ●長濱眼科 ●株式会社ケイオーパートナーズ ●なかむら内科おなかクリニック ●はいさいクリニック ●潮平病院 ●はびねす訪問看護ステーション ●有限会社 タカラ ●すながわ内科クリニック ●外間眼科医院崇元寺 ●岸本外科医院 ●玄米クリニック ●いちょう内科あしとみ ●同仁病院 ●下地第2脳神経外科 ●松岡医院 ●まつおTCクリニック ●かなさん内科クリニック ●沖映通り眼科 ●まみ皮フ科クリニック ●又吉内科クリニック ●訪問看護ステーションはっぴー ●りんご調剤薬局 浦西店 ●訪問看護ステーションあんじゅ ●ハーモニー薬局 ●くすみ薬局 ●和ごころ薬局 さつき店 ●空と海とクリニック ●聖隷訪問看護ステーションゆい ●訪問看護ステーションこころのかて ●那覇かなぐすく皮膚科 ●ねたて内科クリニック ●エクスプロア訪問看護ステーション ●訪問看護ステーションいやしの邦 ●沖縄メディカル訪問看護ステーション ●まなざし訪問看護ステーション ●神谷医院 ●サザン歯科まえた ●おもと会 訪問リハビリステーション ●訪問看護ステーションおもととよみの杜 ●訪問看護ステーション エール〜応援〜 ●うりずん薬局 松尾店 ●訪問看護ステーション緑 ●ピーナツ薬局 ●石川医院

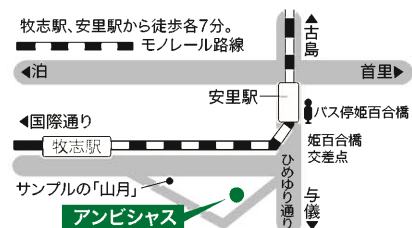
難病無料相談 (電話・来所・メール) 難病のこと、それに伴う不安や家庭・職場での悩みのご相談をお受けします。

☎098-951-0567 ✉soudan@ambitious.or.jp

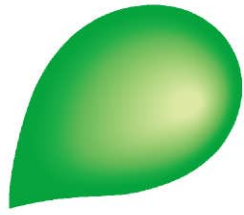
平日10:00~17:00 (休:土日祝日・年末年始)

※ご相談内容・個人情報については「守秘義務」を厳守します。※面談ご希望の方は、事前にご予約ください。

アンビシャス 〒900-0013 沖縄県那覇市牧志3-24-29(グレイスハイム喜納2 1F)
 Tel:098-951-0567(代表) http://www.ambitious.or.jp
 発行元/沖縄県難病相談支援センター アンビシャス(認定NPO法人) 理事長:迫 幸治



私たちは、沖縄県難病相談支援センターアンビシャスの活動を応援しています！



Zenhoren

全保連株式会社 代表取締役 迫 幸治
〒900-0003 那覇市安謝2丁目2番5号 TEL.098-866-4901(代表)

RYUKYU GOLDEN KINGS
http://www.okinawa-basketball.jp
facebook:Ryukyu Golden Kings Official
TEL:098-897-7331 e-mail:customer@okinawa-basketball.jp

MARK X PRIUS AQUA ALPHARD Esquire

もっとクルマの楽しさ
ませんか。
Answer. for you
TOYOPET

沖縄トヨペット

学問なき経験は、経験なき学問に勝る。

Answer. for you. TOYOPET

複写機・OA機器リース、レンタル、
オフィス家具までトータル提案

株式会社クオサ
kuosa

本社:〒901-2201 沖縄県浦添市勢理客1丁目20番14号 2F
Tel:098-879-0162 Fax:098-879-0198
北部営業所:〒905-0016 沖縄県名護市大東2丁目14番3号
Tel:098-051-1600 Fax:098-051-1601
宮古営業所:〒906-0014 沖縄県宮古島市平良松原534-6
Tel:098-079-5751 Fax:098-079-5752

ヴィクサーレ沖縄FCを応援しています。

とちかおくちょうさし
土地家屋調査士
伊波 学 098-897-1245
http://w1.nirai.ne.jp/mabu05/
e-mail:mabu05@nirai.ne.jp

医療関連事業
疾病の診断から治療までを担う

ニュートラシューティカルズ関連事業
日々の健康維持・増進をサポートする

両輪で身体全体を考える

世界の人々の健康に貢献する
トータルヘルスケアカンパニーを目指します。

Otsuka-people creating new products
for better health worldwide

Otsuka 大塚製薬
https://www.otsuka.co.jp/

在宅であなたの「働く」をサポートします

自宅で訓練
自宅で働く

“在宅型”就労移行支援サービス
在宅就労支援事業団 那覇

どこでも Work

TEL: 098-987-4335 FAX: 098-987-4336
http://www.dokodemo-work.com mail: info@dokodemo-work.com

みくに株式会社

みくに株式会社 糸数盛夫
【本社】沖縄県糸満市真栄里2021-10番地
【営業本部】沖縄県宜野湾市嘉数1丁目967番1